

①上位の政策名	政策目標 8 文化による心豊かな社会の実現	
②施策名	施策目標 8-1 芸術文化活動の振興	
③主管課 及び関係課 (課長名)	(主管課) 文化庁芸術文化課 (課長: 鬼澤佳弘) (関係課) 伝統文化課 (課長: 小松弥生) / 美術学芸課 (課長: 山崎秀保)	
④基本目標 及び達成目標 ア= 想定した以上に達成 イ= 想定どおり達成 ウ= 一定の成果が上が っているが、一部 については想定ど おり達成できなか った エ= 想定したどおりに は達成できなかった ア= 想定した以上に順 調に進捗 イ= 概ね順調に進捗 ウ= 進捗にやや遅れが 見られる エ= 想定したどおりに は進捗していない	達成度合い又は 進捗状況	
	<p>基本目標 8-1 (基準年度: 13年度 達成年度: 17年度) 優れた文化芸術への支援、新進芸術家の人材育成、子どもの文化芸術普及活動の推進等を通じて、我が国の芸術文化活動水準の向上を図るとともに、国民全体が、芸術文化活動に参加できる環境を整備する。</p> <p>【達成度合い(進捗状況)の判断基準】 以下の達成目標の進捗状況をア: 5点、イ: 4点、ウ: 2点、エ: 1点としたとき、その合計が、 ア= 15点 イ= 12~14点 ウ= 8~11点 エ= 7点以下</p>	想定どおり達成
	<p>達成目標 8-1-1 (基準年度: 13年度 達成年度: 17年度) 優れた芸術創造活動への支援を継続し、芸術創造活動を活性化させる。</p> <p>【達成度合い(進捗状況)の判断基準】 平成 17 年度予算積算における支援公演数(697 公演)をベースに以下の基準による。 ア=直接的な牽引力となることが期待され、支援を受ける芸術団体の公演への支援数が 697 以上。 イ=直接的な牽引力となることが期待され、支援を受ける芸術団体の公演への支援数が 558 以上、697 未満。 ウ=直接的な牽引力となることが期待され、支援を受ける芸術団体への公演への支援数が最高水準の舞台芸術等公演への支援数が 349 以上、558 未満。 エ=直接的な牽引力となることが期待され、支援を受ける芸術団体の公演への支援数が 349 未満。</p>	想定した以上に達成
	<p>達成目標 8-1-2 (基準年度: 13年度 達成年度: 17年度) 新進芸術家の海外への留学や国内での研修を支援することにより、芸術創造活動を活性化させる。</p> <p>【達成度合い(進捗状況)の判断基準】 平成 17 年度予算積算における派遣者数(275 人)をベースに以下の基準による。 ア=新進芸術家海外留学制度、国内研修制度における派遣者数が 275 人以上。 イ=新進芸術家海外留学制度、国内研修制度における派遣者数が 220 人以上、275 未満。 ウ=新進芸術家海外留学制度、国内研修制度における派遣者数が 138 以上、220 人未満。 エ=新進芸術家海外留学制度、国内研修制度における派遣者数が 138 人未満。</p>	想定どおり達成
<p>達成目標 8-1-3 (基準年度: 13年度 達成年度: 17年度) 子どものための公立文化施設における公演機会や学校における芸術文化に触れる機会の提供を継続し、芸術文化の普及活動水準を向上させる。</p> <p>【達成度合い(進捗状況)の判断基準】 平成 17 年度予算積算における公演数(520 公演)をベースに以下の基準による ア=子どもが芸術文化に触れる機会を確保した学校及び公立文化施設数が 520 以上。 イ=子どもが芸術文化に触れる機会を確保した学校及び公立文化施設数が 416 以上 520 未満。 ウ=子どもが芸術文化に触れる機会を確保した学校及び公立文化施設数が 260 以上 416 未満。 エ=子どもが芸術文化に触れる機会を確保した学校及び公立文化施設数が 260 未満。</p>	想定した以上に達成	
⑤各達成目標の 現況 達成度合い又 は進捗状況	達成目標 8-1-1 【平成 17 年度の達成度合い】 達成目標「優れた芸術創造活動への支援を継続し、芸術創造活動を活性化させる」の平成 17	

<p>の分析と今後の課題</p>	<p>(達成年度が到来した達成目標については総括)</p> <p>年度の達成度合いについては、最高水準の舞台芸術等公演への支援数の指標が大幅に増加しており、想定した以上に達成しているものと判断。</p> <p>【達成目標期間全体の総括】 達成目標期間全体を通じて、支援団体数はほぼ毎年順調に増加しており、想定通り達成していると判断。</p> <hr/> <p>達成目標 8-1-2 【平成 17 年度の達成度合い】 達成目標「新進芸術家の海外への留学や国内での研修を支援することにより、芸術創造活動を活性化させる。」の平成 17 年度の達成度合いについては、指標が想定通り想定通り達成しているものと判断。</p> <p>【達成目標期間全体の総括】 達成目標期間全体を通じて、海外・国内への派遣者数は、年によって減少はあるものの、派遣者の質の確保は一定程度確保されているものと考えられ、想定通り達成しているものと判断。</p> <hr/> <p>達成目標 8-1-3 【平成 17 年度の達成度合い】 達成目標「子どものための公立文化施設における公演機会や学校における芸術文化に触れる機会の提供を継続し、芸術文化の普及活動水準を向上させる。」の平成 17 年度の達成度合いについては、公立文化施設及び学校数の指標がいずれも大幅に増加しており、想定した以上に達成しているものと判断。 なお、実際に事業を実施した学校からの報告等により、同事業が子どもたちに効果的な影響を及ぼしていることが推察される。 (参考) 事業を実施した学校からの報告の一例 「舞台芸術を直に見る機会に恵まれない山間部のへき地校に東京から本物の劇団に来ていただき、迫力ある生の演劇を間近に見ることが出来た。渾身の演技をする役者さんの姿や大がかりな舞台装置から、子どもたちは大きな感動を得た。本物に触れることの大きさが分かった。」</p> <p>【達成目標期間全体の総括】 達成目標期間全体において指標は大幅に増加しており、想定した以上に達成しているものと判断。</p>
<p>施策目標(基本目標)の達成度合い又は進捗状況</p>	<p>【平成 17 年度の達成度合い】 施策目標 8-1 の下の各達成目標については、全体として概ね順調に進捗している。これらの達成目標を達成することで、我が国の芸術文化活動水準の向上をはかるとともに、国民全体が、芸術文化活動に参加できる環境を整備するという基本目標の達成に寄与したものと見える。以上の状況を総合的に勘案すると、施策目標 8-1 については、想定通り達成しているものと判断。</p> <p>【基本目標期間全体の総括】 達成目標全体において、各施策の指標は年によって減少があるものの概ね順調に推移しており、想定通り達成しているものと判断。</p>
<p>今後の課題(達成目標等の追加・修正及びその理由を含む)</p>	<p>達成目標 8-1-1 平成 17 年度より、「芸術団体重点支援事業」については、上述の現状分析や「今後の舞台芸術創造活動の支援方策について(提言)」(平成 16 年 2 月文化審議会文化政策部会)等を踏まえて、その支援目的及び支援対象事業をより明確にし、団体の総体の活動ではなく、公演ごとのプロジェクト支援である趣旨に則した活動を支援対象とするなどの見直しを行ったところである。平成 18 年度以降、公演の質を把握するための新たな指標の設定について検討する必要がある。</p> <p>達成目標 8-1-2 平成 18 年度においても、引き続き将来性のある多くの芸術家に実践的な研修機会を提供するため、「新進芸術家海外留学制度」及び「新進芸術家国内研修制度」による支援を継続する必要がある。また、新進芸術家派遣後のフォローアップを行う等、その効果を把握するよう努める。</p> <p>達成目標 8-1-3 子どもたちの本物の文化芸術に触れる機会の確保については、これまで年々支援を増加してきたところであるが、各方面からの要望も多いことから、平成 18 年度以降、更に拡充することについて検討する必要がある。</p> <p>その他、平成 18 年度以降、地域文化の活性化に関する達成目標を設け、評価を行うことを検討する。</p>
<p>評価結果の 18 年度以降の政策への反映方針</p>	<p>達成目標 8-1-1 平成 18 年度においても、「芸術創造活動重点支援事業」を支援対象事業を明確化して実施し、更なる我が国の芸術創造活動の水準向上及び活性化を目指す。</p> <p>達成目標 8-1-2 平成 18 年度においても、引き続き「新進芸術家海外留学制度」及び「新進芸術家国内研修制度」を実施することにより、更なる我が国の芸術創造活動の水準向上及び活性化を目指す。</p> <p>達成目標 8-1-3 平成 18 年度においても、引き続き「本物の舞台芸術に触れる機会の確保」を講じることに、さらに我が国の芸術創造活動の水準向上及び活性化を目指す。</p>

⑥指標	指標名	13	14	15	16	17	
	直接的な牽引力となることが期待され、支援を受ける芸術団体の公演数、団体数 (～平成12年度) (達成目標8-1-1関係) ※平成17年度より団体ごとの支援から公演ごとの支援に見直しを行った。	単年度 (公演数)	—	—	—	776	
		累積 (団体数)	78	173	259	360	467
	新進芸術家海外留学制度における派遣者数 (平成11年度～) (達成目標8-1-2)	単年度	133	198	155	138	168
		累積	392	590	745	883	1051
	新進芸術家国内研修制度における派遣者数 (平成11年度～) (達成目標8-1-2関係)	単年度	52	74	63	69	70
		累積	158	232	295	364	434
子どもが芸術文化に触れる機会を確保した公立文化施設の数(平成11年度～) (達成目標8-1-3関係)	単年度	43	111	119	114	117	
	累積	127	238	357	471	588	
子どもが芸術文化に触れる機会を確保した学校の数(平成11年～) (達成目標8-1-3関係)	単年度	121	202	401	402	590	
	累積	302	504	905	1,307	1,897	
参考指標	①文化芸術活動の鑑賞と文化活動の重要性について「非常に大切だ」「ある程度大切だ」と回答した者の割合の合計	—	—	86.2%	—	—	
	②子どもたちが参加・体験できる文化事業や行事を行うべきと回答した者の割合	—	—	55.7%	—	—	
⑦評価に用いたデータ・資料・外部評価等の状況	(参考指標) ①②「文化に関する世論調査」(平成15年11調査内閣府大臣官房政府広報室)から引用。 (その他の指標) ・文部科学省調べ。						
⑧主な政策手段 (過去に新規・拡充事業評価を実施し、平成18年度に達成年度が到来する事業については総括)	政策手段の名称 (上位達成目標 [17年度予算額])	政策手段の概要			17年度の実績 (得られた効果、効率性、有効性等)		
	芸術団体重点支援事業 (達成目標8-1-1) (6,526百万円)	最高水準の舞台芸術、伝統芸能等の公演に対する重点支援を実施。			直接的な牽引力となることが期待される芸術団体への支援により、芸術創造活動が活性化された(平成17年度は103団体を支援)		
	新進芸術家海外留学制度 (達成目標8-1-2) (793百万円)	美術、音楽、舞踊、演劇等の各分野における新進芸術家の海外芸術団体や芸術家等への留学を支援することにより、実践的な研修の機会を提供する。			新進芸術家の海外への留学を支援することにより、芸術創造活動が活性化された。(平成17年度は168人を支援)		
	新進芸術家国内研修制度 (達成目標8-1-2) (210百万円)	新進芸術家が美術、音楽、舞踊、演劇、伝統文化等の各分野について、国内の研修機関において実践的な研修を受ける機会を提供する。			新進芸術家の国内での研修を支援することにより、芸術創造活動が活性化された。(平成17年度は70人を支援)		
	本物の舞台芸術に触れる機会の確保 (達成目標8-1-3) (3,004百万円)	学校や公立文化会館などにおいて優秀な舞台芸術や伝統芸能に直に触れる機会を提供し、感受性豊かな人間性としての育成を図る。			子どものための学校や公立文化会館における芸術文化に触れる機会の提供により、芸術文化の普及活動水準が向上した。(平成17年度は707公演を提供)		
	芸術拠点形成事業 (基本目標8-1) (1,023百万円)	公立文化会館や劇場、博物館・美術館における我が国の芸術拠点の形成につながる優れた自主企画・制作及び公演等に対する重点支援を行う。			公立文化会館や劇場等における優れた自主企画・制作及び公演に対する重点支援により、芸術創造活動が活性化された。(平成17年度は55団体を支援)		
⑨備考							
⑩政策評価担当部局の所見	※子どもが芸術文化に親しむようになるという観点からの効果を把握するための指標を設定することを検討すべき ※事業の効果が我が国の芸術文化活動全体の振興にどのような効果を及ぼしているか(波及効果)を把握するための指標を設定することを検討すべき。						

施策目標8-1(芸術文化活動の振興) -平成17年度実績評価の結果の概要-

